

★アトリエハウス ・ テントの取り組みから

＜アトリエハウス＞

ヤギの小屋の隣にあるアトリエハウス。ストックしてある様々な自然素材を使って、好きな時に子どもの自由な発想によって制作を楽しむことができる空間です。主に“なおき先生”や“リヴ先生”と一緒に活動を楽しんでいます。今月から新たに“あおい先生”（志賀葵衣）が非常勤で加わりました。

“あおい先生”は、東京造形大学で菱田波先生（園のアトリエ・絵画クラブ担当講師）に指導を受け、現在は自由の森学園の美術の先生でもあります。より芸術的で子どもの自由な発想を尊重した活動になることを期待しています。

さて、このアトリエハウスの活動は、以前、園長がドイツの幼稚園巡りをしていた時に会ったスタイルで、園庭のミニログハウスで先生や芸術家さんと一緒に好きな造形活動が行われていました。また、イタリアのレッチョ・エミリアでは、子ども主体で創造的な芸術活動がアトリエリスタ（子どもの創作活動をサポートする探求パートナー）と共に行われています。（最近では星野リゾートさんでも取り組まれていますね。）本園のスタイルは、自然を尊重するドイツと、芸術性を尊重するイタリアの取り組みを融合させた形と言えるでしょう。



＜テント＞

森の広場とてっぺん広場にある白いテントについてはこれまでもご紹介してきましたが、秋～春はテントで過ごしやすい季節であるため、様々な用途で利用しています。例えば、絵本の読み聞かせをしたり、図鑑を持ち込んで調べたり、お弁当を食べたり、ただ寝転がってのんびり過ごしたりと、柔軟に活用しています。園庭開放で来園される未就園児の親子の皆さんも休憩に使っていただいていますよ！テントの中に入ると、草木がそよぐ音、小鳥のさえずり、キツツキが木をつつく音なども聞こえ、ありのままの自然の息吹を感じ取ることができます。どうぞ保護者の皆様も体験してみてください！



園庭にこうした拠点が複数できたことで、子どもたちの活動がより豊かになってきています。園庭での遊びや活動の選択肢が増えたことはもちろん、興味を持ったことに、より少人数で探究心を持って没頭することができるようになること、協同的な学びと個別最適な学びの相乗効果も期待しています。

★クリスマス会

クリスマス制作で作った作品を飾り、クリスマス会のはじまり！サンタさんのお話を聞いていると、本物のサンタさんが登場！歌を一緒に歌ったり、プレゼントをいただいたり、コミュニケーションをとったりと、優しいサンタさんと素敵な時間を過ごしました。今度のクリスマスにも来てくれるかな？



★大掃除

おもちゃ、椅子、ロッカー、床の雑巾がけなど、「ありがとう」の気持ちを込めて大掃除を行いました。



★年長 プラネタリウム

八王子市こども科学館では“科学の不思議”を感じ、プラネタリウムでは満天の星や星座のお話を夢中になって聞いていました。宇宙への興味が広がったことでしょう！



★年長 デジタルアート体験

美術家である在園児のお父様にご協力いただきホールで素敵な体験を行いました。不思議が一杯のしかけと空間に感性も豊かになりました！



★ムササビのエサ台づくり

園の森に棲むムササビが冬の食べ物が少ない時期に食べられるようドングリのエサ台をノコギリ、カナヅチ、クギで作りました。



★東北の森復興にむけて...

震災による津波で失われた東北の森を再生するため、東北の園児にドングリを拾って送ってもらい、こちらで育て2年後に成長した苗を送るプロジェクト。年長が毎年行っています。豊かな森になるよう大切に育てます。



★年中 味噌造り・草木染め

●味噌づくり！お手伝いの皆様に感謝！



●なみ先生と草木染め...完成！



★年少 森散策

里山を維持するための間伐によって開けた景色を楽しみ、自然の不思議さに目を向けながら歩きました！

